

令和8年度第2回介護職員等レベルアップ研修開催のお知らせ

葛飾区では、介護職員の皆様に現場で役立つスキルを学んでいただくため、区内の介護サービス事業所および介護保険施設等の職員を対象としてレベルアップ研修を開催しています。

今年度も全10回の研修を予定しており、第2回目の研修のテーマは「“なんとなく提供”から脱却する栄養アセスメント」となっております。食欲が落ちている。残食が増えている。でも時間も人手も限られている。その食事、本当に評価できていますか？本研修では、低栄養リスクの見抜き方や限られた予算などのポイントから、現場で使える管理栄養アセスメント視点をグループワークを交えて学んでいきます。現場で使える実践的な視点を学んでいく回となっておりますので、ぜひともこの機会にご参加ください。

1 受講対象者・推薦要件

葛飾区内の介護サービス事業所、介護保険施設等に勤務する職員
(職種、常勤・非常勤問わず)

2 定員

30人

※定員を超える場合は選考の上、受講を決定します。受講の可否についてはメールでお知らせします。3日前までにメールが来ない場合はご連絡ください。

3 日時及び会場

※会場は別紙地図参照

日付	時間	会場	部屋
令和8年6月5日(金)	午後1時30分 ～3時30分	男女平等推進センター (ウィメンズパル内) 2階	視聴覚室

※受付は、午後1時10分からです。

4 研修内容・講師

研修テーマ	実施内容	講師
「“なんとなく提供”から脱却する栄養アセスメント」～食欲低下・時短・金銭制約・疾患別対応を踏まえた実践的食事支援～ —訪問栄養相談の活用も添えて—	食欲が落ちている。残食が増えている。でも時間も人手も限られている。そして、献立のネタ切れ…。その食事、本当に“評価”できていますか？本研修では、 ・低栄養リスクの見抜き方・食欲低下時の具体的対応・限られた予算・時間内での栄養確保・疾患別（糖尿病・腎疾患・心不全など）の押さえるべき栄養ポイント・現場で使える簡易栄養アセスメント視点を整理します。“作る・出す”から“評価して調整する”食事提供へ。明日から現場で使える実践的な視点を持ち帰っていただきます。	Kery 栄養パーク 代表 管理栄養士 稲山 未来 氏

講師の経歴詳細は「講師プロフィール」のとおり

5 受講料

1人 600円

※受講日当日に、受付にて集金します。お釣りのないようお願いします。

6 感染症予防対策と受講生へのお願い

- ・受講者の皆様には「咳エチケット」へのご協力をお願いします。

【申し込み方法】

以下のQRコードを読み込んでいただくか、又はURLから、申し込み受付フォームにて必要事項を入力し、お申し込みください。



URL : <https://logofom.jp/form/Ehiz/1566948>

《申し込み期限》 令和8年5月25日（月）

※受講の可否については、メールにてお知らせします。

3日前までにメールが届いていない場合は担当までご連絡ください。

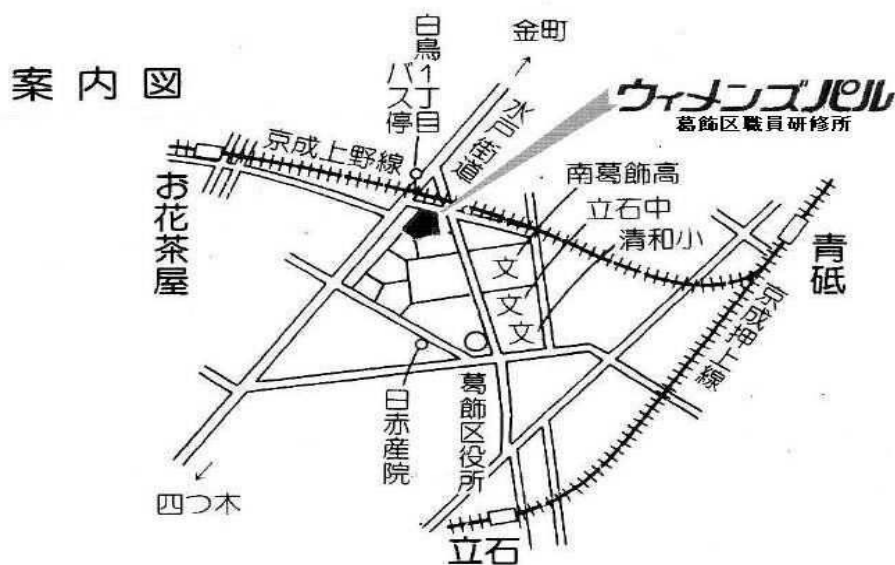
【申し込み及び問い合わせ先】

葛飾区福祉部介護保険課事業者係 担当者：原

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 TEL 3695-1111（内線）2367
（直通）5654-8251（FAX）5698-1504

E-mail : kaigo@city.katsushika.lg.jp（事業者係メールボックス）

【地 図】 会場周辺は駐車場が限られていますので、公共交通機関をご利用ください。



Kery 栄養パーク 代表 稲山 未来 氏

【資格等】

管理栄養士

認定在宅訪問管理栄養士

介護支援専門員

摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

東京都栄養士会新宿支部 支部長

新食研認定栄養ケアステーション 管理者

【活動】

栄養士養成校を卒業後、特別養護老人ホームにて調理員を経て管理栄養士の国家資格を取得。その後も特別養護老人ホームにて、給食管理や栄養管理業務、また看取り期の食支援に関わる。

食事・栄養だけではなく、生活全般を支える知識や技術を身に着けるため、介護支援専門員の資格を取得。

施設での高齢者支援を通して、人生における食の重要性に改めて気付く。最期までその方の傍で食に向き合う事は、本人も支援者も皆が満足の出来る幸せな旅立ちのサポートが出来るのではないかと。

職域を施設から地域へ移し、在宅訪問栄養指導を開始。しかし、在宅介護の領域にはまだ栄養管理の必要性が普及しきれていない。そして同時に、対応出来る在宅管理栄養士の数の少なさに驚愕した。

地域に向けて栄養の知識を普及する事、また在宅管理栄養士の数を増やす事を目指して2021年独立、Kery 栄養パークを開業。

開業後は、臨床での訪問栄養食事指導に加えて、地域向け栄養講座の開催、また管理栄養士の教育コンサルティングを行っている。在宅支援の現場に管理栄養士の介入が当たり前になる事を目標として、需要と供給の両側面からアプローチをかけていく。

高齢者支援を追求する事、また最期まで寄り添った支援をモットーに、これからも出来る事全てに挑戦していく。